

<前年度>

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
職員配置	<p>●配置計画</p> <p>理事長 1名 常務理事 1名（兼務） 事務局長 1名（兼務） 事務局員 5名（兼務） 非常勤 1名（産業医） 合計 8名（内6名は兼務、4名は出向）</p>	<p>●実績人員</p> <p>理事長 1名 常務理事 1名（兼務） 事務局長 1名（兼務） 事務局員 4名（兼務） 非常勤 1名（産業医） 合計 8名（内6名は兼務、4名出向）</p>	<p>●予算人員</p> <p>理事長 1名 常務理事 1名（兼務） 事務局長 1名（兼務） 事務局員 4名（兼務） 非常勤 1名（産業医） 合計 8名（内6名は兼務、4名は出向）</p>
重点項目	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善</p> <p>○メンタルケアの充実</p> <p>○衛生委員会との連携</p> <p>2. 長期修繕計画の策定</p> <p>○調査から見えてくる修繕箇所を反映させた長期修繕計画の策定に向けて、業者と打ち合わせを行っていく。うらら保育園、特別養護老人ホームすずうらホーム拠点の予算状況も勘案した計画の作成を目指す。</p> <p>3. 安定運営に向けた人材確保</p> <p>○外部業者も活用して、人材確保に努める。</p> <p>行政・関係団体・株式会社を活用し、就職フェアへの参加やウェブページの充実を行っていく。</p> <p>状況に応じて、派遣会社や紹介会社を活用し、人材確保に努める。</p>	<p>1. 職場環境の整備</p> <p>・衛生委員会の活動を通して、具体的な健康管理の方法を検討、周知をしていく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、衛生委員会が年間を通じて実施できず、具体的な提案が出来なかった。</p> <p>・ストレスチェックを実施し、高ストレス者には産業医との面談を勧めた。1名の面談希望者がいた。</p> <p>・ハラスメント防止規程について、衛生委員会が中心になり策定を行った。</p> <p>・衛生委員会については、コロナウイルス感染状況から5月、6月に実施。7月から9月までの間、開催は出来なかった。10月以降オンラインでの実施をメインとして開催した。</p> <p>2. 長期修繕計画の策定</p> <p>・調査により外回りウッドデッキの改修が急務であることが分かった。正式な見積もりを徴するには費用が掛かる為、概算で業者に予算を確認したところ、100,000,000円以上の費用がかかるとのこと。全体では300,000,000円規模になるとの予測から、補助金、助成金を調査し、活用する方向で調整を行った。長期修繕計画は業者が今年度中に作成予定。</p> <p>3. 安定運営に向けた人材確保</p> <p>・保育部門については外部業者主催の就職フェアに2回、保育団体・行政主催の就職フェアに2回参加。</p> <p>令和5年度採用内定職員（3月1日現在） 非正規保育士1名、正規保育士10名（新卒6名、既卒2名） 正規学童支援員2名（1名6月入職）、正規看護師1名</p> <p>・高齢部門については人材確保の前に各部門の業務内容を精査。介護職、専門職、事務員、管理監督職の業務を明確にし、人材の配置検討の材料とした。</p>	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善</p> <p>定期健康診断により、指摘が多い高血圧、高脂質、高血糖など有所見者に対し健康指導を行っていくほか、衛生委員会が中心になり、健康診断検査項目の拡大など、数値の改善にむけた取組方法を工夫しながら周知を図る。</p> <p>○メンタルケアの充実</p> <p>対人関係や仕事の多忙による過度なストレスを感じる事が多い状況下において、福祉で働く職員にとっても利用者などへのより良い支援サービスを提供するうえで、心の健康を保つメンタルケアが大切である。ストレスチェック制度や産業医の協力の基に取組んでいく。</p> <p>○衛生委員会との連携</p> <p>衛生委員会の議事内容を把握し、衛生委員会の活動と連携して職員の健康維持に努める。</p> <p>2. 長期修繕計画の策定と修繕の実施</p> <p>○業者が作成した長期修繕計画の内容を精査し、工事の実施時期、費用のT面、補助金の申請など業者と打ち合わせを行っていく。</p> <p>※活用可能な補助金の種類 東京都『老人福祉施設整備費補助要綱』 上限 100,000,000円 1/2 補助</p> <p>葛飾区『葛飾区特別養護老人ホーム等に対する大規模修繕補助要綱』 上限 50,000,000円 1/2 補助</p> <p>3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用</p> <p>○保育部門については、昨年度に引き続き外注の求人ページを活用しながら、職員の安定確保に向けて就職フェアなどに参加していく。</p> <p>○高齢部門については、ローコストの求人方法を調査し、公的なサービスも活用しながら安定運営に向けた人材確保を目指す。</p> <p>○1階和室を有効活用した事業展開を検討し、開始に向けて準備を進めていく。</p>

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
その他	<p>1. 衛生委員会の実施</p> <p>2. 評議員会・理事会の開催</p> <p>(1) 令和4年度第1回理事会</p> <p>(2) 令和4年度第1回評議員会</p> <p>(3) 令和4年度第2回理事会</p> <p>(4) 令和4年度第3回理事会</p> <p>(5) 令和4年度第2回評議員会</p>	<p>1. 衛生委員会の実施状況</p> <p>職員の健康維持・増進について討議した事項を職員に周知するとともに、定期健康診断の結果を分析し、必要な対策を検討して防止対策を周知した。</p> <p>2. 評議員会・理事会の開催状況</p> <p>評議員会・理事会の開催状況</p> <p>令和4年度 第1回理事会</p> <p>令和4年6月14日 出席 理事6名 監事2名</p> <p>① 令和3年度事業報告（案）について</p> <p>② 令和3年度決算予算（案）について</p> <p>③ 理事長・常務理事の職務執行状況について</p> <p>④ 監事監査報告について</p> <p>⑤ 理事長・園長兼務者の定期昇給について</p> <p>⑥ 役員等賠償責任保険について</p> <p>⑦ 評議員会の招集について</p> <p>⑧ その他の案件について</p> <p>令和4年度 第1回（定時）評議員会（決議の省略評議員会）</p> <p>決議がなされたとされる日、令和4年6月30日</p> <p>① 令和3年度 事業報告案について</p> <p>② 令和3年度 決算報告案について</p> <p>令和4年度 第2回理事会</p> <p>令和4年11月24日 出席 理事5名 監事1名</p> <p>① 諸規程の改正について</p> <p>② 令和4年度中間報告（案）について</p> <p>③ 令和4年度第一次補正予算（案）について</p> <p>④ うらら保育園、ひのか保育園定員変更（案）について</p> <p>⑤ 理事長・常務理事の職務執行状況について</p> <p>⑥ 理事長・園長兼務者の年末賞与報酬の提案について</p> <p>⑦ その他の案件について</p> <p>令和4年度 第3回理事会 令和5年3月14日開催予定</p> <p>令和4年度 第2回評議員会 令和5年3月29日開催予定</p>	<p>1. 衛生委員会の実施</p> <p>職員の健康維持・増進について討議した事項を職員に周知するとともに、定期健康診断の結果を分析し、必要な対策を検討して防止対策を検討する。また、法人と連携し、職員の健康維持に努める。</p> <p>2. 評議員会・理事会の開催予定</p> <p>(1) 令和5年度第1回理事会</p> <p>令和5年6月9日(金)開催予定</p> <p>令和5年度第1回評議員会(定時評議員会)</p> <p>令和5年6月27日(水)開催予定</p> <p>(2) 令和5年度第2回理事会</p> <p>日程未定</p> <p>(3) 令和5年度第3回理事会・第2回評議員会</p> <p>日程未定</p>

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
その他	<p>3. 法人登記</p> <p>4. 法人監査</p> <p>5. 届出関係</p>	<p>3. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記 令和4年3月31日現在の資産の総額が、2,312,809,747円となり、令和4年6月30日に変更登記を行った。</p> <p>4. 法人監査 令和3年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により令和4年6月3日に実施した。</p> <p>5. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善交付金精算</p>	<p>3. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記</p> <p>(2) 代表者の変更登記</p> <p>4. 法人監査 令和4年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により実施予定</p> <p>5. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書 ③各種規程の変更</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善交付金に係わる申請</p> <p>(3) 東京都 行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）</p>

項目	前年度計画	前年度実績(課題)	令和5年度 事業計画																																																								
利用定員	<p>●事業定員</p> <table border="1" data-bbox="296 262 697 346"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児以上</th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>22</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">合計 70人</p> <table border="1" data-bbox="296 399 786 483"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>14</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">合計74人</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	人数	12	12	12	12	22	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	12	12	12	14	12	12	<p>●実績人員(令和5年3月)</p> <table border="1" data-bbox="905 273 1394 357"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td><td>13</td><td>13</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">合計73人</p> <p>○年度途中の入退園</p> <p>入園 0歳児4名 1歳児1名 2歳児2名 3歳児1名 退園 0歳児1名 1歳児1名 2歳児2名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	12	12	12	11	13	13	<p>●予算定数等</p> <table border="1" data-bbox="1914 273 2537 388"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th><th></th></tr> <tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>合計69人</td></tr> </table> <p>●執行上の問題点・課題</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		人数	9	12	12	12	12	12	合計69人
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上																																																						
人数	12	12	12	12	22																																																						
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	12	12	12	14	12	12																																																					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	12	12	12	11	13	13																																																					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	9	12	12	12	12	12	合計69人																																																				
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>施設長 1名 監督職 2名 一般職 18名 非常勤職員 11名 合計 32名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 監督職 2名(内 育児休業取得中1名) 一般職 20名(内 育児休業取得中2名) 非常勤職員 13名(内 学生アルバイト2名) 派遣保育士 1名 合計 37名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <p>入職…8月 学生アルバイト 1名 9月 正規看護師 1名 12月 非常勤保育補助 1名 2月 非常勤用務員 1名 派遣保育士 1名 異動…8月 正規保育士(学童保育クラブより) 1名 9月 正規保育士(ひのか保育園へ) 1名 退職…6月 非常勤保育補助 1名、10月 正規保育士 1名</p> <p style="text-align: right;">令和5年2月現在</p>	<p>●予算人員</p> <p>*令和5年4月</p> <p>退職…正規保育士 3名(内1名 非常勤保育士に雇用変更) 非常勤保育士 2名 採用…正規保育士 4名 異動…正規保育士 御蔵島村保育園へ1名 学童保育クラブへ1名 正規保育士 ひのか保育園から3名</p> <p>施設長 1名 監督職 1名 一般職 23名(内1名 育児休業取得) 非常勤職員 12名</p> <p style="text-align: right;">合計 37名</p>																																																								
処遇の特例事項	<p>●感染症予防・拡大防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに基づいた対策を行う *冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。 *新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。 	<p>●感染症の状況</p> <p>4・6・7・8・9・11月 突発性発疹 9名/6月 咽頭結膜熱 1名/ 7月 ヘルパンギーナ 7名/9月 水痘 2名/7・8・10月 手足口病 33名/ 7月 RSウイルス感染症 1名/10月 溶連菌感染症 2名/ 12月 流行性角結膜炎 1名</p> <p>*新型コロナウイルス感染症…職員10名 児童24名</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p> <p>●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 56件</p> <p>内 結膜挫傷/眼瞼挫傷/眼瞼打撲/擦過創 5件/頭部打撲 2件/粘膜下内出血/挫創 3件/挫傷 3件/顔面外傷/外傷 2件/後頭部打撲・たんこぶ/上唇小帯裂傷/亜脱臼 2件/切創 4件/急性蕁麻疹/爪割れ・炎症/左手小指挫傷/シール誤飲/擦過傷 4件/打撲 2件/右こめかみ小指挫創/打撲・打撲による水泡/努責性発疹/右前頭部打撲/皮膚欠損創/挫滅創 2件/下顎打撲傷/上唇裂傷/歯肉の裂傷/頭部挫創/結膜挫傷/左小指挫創/左手湿疹/左頬部皮膚潰瘍/歯の打撲/歯の打撲・口唇裂傷/右手関節捻挫</p> <p>●新型コロナウイルス感染症関連</p> <p>都内、また園の感染状況を鑑み、年3回の定例保護者会はリモートで開催。保護者参加の行事や保育参加は内容の変更や時間の短縮など都度状況を見ながら判断を行った。7月26日付の区の通達を受け、濃厚接触者の特定、また陽性者が発生した場合の保護者への発信方法(児童及び職員の名を記載)を見直し、感染症予防・拡大防止に努めた。</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>衛生管理を徹底し、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p> <p>*冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防対策を行う。</p>																																																								

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
重点項目	<p>①保育環境の再考、充実の実現</p> <p>○保育環境について考察を深め、再構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『子供の育ちを支える保育環境づくり』に向けて子供たちの今の姿を手がかりに、室内・園庭環境について職員間で対話し、環境に特化した研修を受講するなど再考⇒具現化してゆく。 手間をかける、手がける保育を大切にしながら『暮らしの豊かさとは？』を再考する。 <p>○安心安全な保育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナと共存しながら保育の安定を図ってゆく。 子供たちにとって、保護者にとっての『安心とは？』を引き続き再考してゆく。 各マニュアルを見直し、保育現場で活用しやすいものに改訂する。 <p>②保育の組織力強化</p> <p>○職員階層の再編。保育課題の検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の主体性・発達に沿った保育を専門的な視点から研修や日々の保育を通して学び、それを踏まえて職員同士で対話し実践につなげる。 ワーキングチームそれぞれが、事業計画の重点項目と連動した保育課題の解決に向けてチームで協力し合い、実現していく。 <p>○リーダー層育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> リーダーとしての自覚・役割を理解し、使命感を持って業務に当たれるよう、指導を行う。またリーダー層が中心となり、同僚性を意識した職員関係を築いていく。 	<p>①保育環境の再考、充実の実現</p> <p>○保育環境について考察を深め、再構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでのコロナ禍の保育課題や職員の困り感を引き出し、各クラス試行錯誤しながら保育にあたった。7月に2回、園内研修「私達は何を願って環境づくりを行うのか」（講師：ホソカワシュビールバーレン 細川真吾氏）を実施した。各担任が自らの保育室の環境について振り返りを行い、遊びや環境について学びを深めた。10月の「うららな日」について職員会議を行い、再度「自分たちが大切にしたいこと」を整理し、その想いをもとに方向性を検討し開催した。また主に5歳児の「奇声」「水の使い方」について、近隣の方からのご意見があり、各クラスリーダーを招集し、保育中に思っていること・保育の組み立てについて、改めて考える機会を設けた。11月には近隣園とのドキュメンテーション合同研修、2月には、園内研修「すべてのひとが、今を生きる 社会を生きる～スヌーズレン理念と実践から考える うららの保育～」(講師：日本スヌーズレン協会 尾本重治氏)を開催し、福祉とは？保育とは？ということ職員間で学びを深め、今後の保育を考える機会となった。 <p>○安心安全な保育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省からの通達を受け、AEDの設置場所を追加した散歩マップへ改訂、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策やうららとしての今後の運営方針を再検討し、保護者・職員へ周知をした。7月には東京都の規定により、1歳児の午睡チェックの間隔を変更、それに伴い、幼児三家クラスの午睡チェックの間隔も検討し、乳幼児突然死症候群（SIDS）の対策に努めた。また、静岡のバス事故、不適切保育の報道を受け、外部研修や園内研修を通して職員間で自分事として受け止め、今後の保育へとつなげた。不適切保育については、12月の職員会議にて「不適切な保育・養育について考える」というテーマを基にワーク形式で振り返り、全職員でその内容を書面にて共有し、人権について再度考察を深めた。パーゴラ工事については、職員間で子供たちや保護者の動線について確認し、12月末に施工終了。以前、利用者アンケートで保護者から不安の声があった外壁の扉の高さについても検討し、フェンスを設置した。1月に実施した観劇での貸し切りバスの使用に伴い、バスマニュアルを作成し、子供の安全を第一に職員も安心安全に引率できるよう対策に努めた。 <p>②保育の組織力強化</p> <p>○職員階層の再編。保育課題の検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 階層別チームを編成する際、新たな試みとして各職員から配属チームの希望を聞き、希望に沿ってチームを編成。階層別チームの編成が大幅にずれ込み、10月からの始動となる。課題の抽出を目標に来年度に継続、また改善してゆくことを職員間で確認。園全体の良好な組織風土づくりとして、全国私立保育連盟主催園内研修コーディネーター育成講座や、保育ファシリテーター実践研究会に主任・他職員が参加した。 各自、研修に参加し、それぞれが学んだことを実践に繋げていった。 <p>○リーダー層育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後半期、園内研修・職員会議・行事の前に主任・リーダー層が会議やミーティングのあり方について検討。研修の学びを活かし、総括の振り返り方法を「PDCA サイクル」から「KPT法」に変更し、また月案会議も報告型ではなく、子供たちの育ちを共有しながら園全体でクラスの姿を捉えられるような会議方法に変えたことで、以前よりも対話が生まれ意見交換の場が活性化された。 	<p>①保育の再考、充実の実現</p> <p>○保育環境について課題を抽出し、考察を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供を“真ん中”にした保育を意識し、子供の育ちを捉え、保育環境（室内・園庭・裏庭）について再考し、実現してゆく。 福祉とは？教育とは？という観点から掘り下げ“保育とは？”を日々問いながら「暮らしの豊かさ」につなげ、うららの保育を再考する。 <p>○安心・安全な保育。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナとの共存からこれまでの様々な規制が緩和してゆく中で、リスクマネージャーを中心とした安全計画に基づいた実践を行い、保育の安定、継続を図ってゆく。 『チーム保育“わたしたち”』を意識した組織づくりを行うとともに、子供たちにとって、保護者にとっての『安心とは？』を職員間で共有し、考察してゆく。 適宜マニュアルを見直し、保育現場で活用しやすいものに改訂し、安全保持に努める。 BCP（事業継続計画）の再構築を行う。 <p>②事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTシステムを活用するとともに、業務の整理を行い、事務の効率化を図る。 ノンコンタクトタイム及び、残業時間を減らす取り組みを再考し、取り入れていく。 <p>③保育の組織力強化</p> <p>○職員階層の再編。保育課題の検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーキングチームそれぞれが、事業計画の重点項目と連動した保育課題の解決に向けて“チーム力”を強化していく。 <p>○新任層の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> バディ制度を導入し、保育業務全般や法人職員としての心得を理解してゆく。 <p>○ファシリテーターが中心となりつつ、職員それぞれが積極的に参画できる職員会議や園内研修の企画、運営を行い、会議の活性化を図る。また中堅層も、会議の運営、企画を学びながら、主体的に活動できる環境を整える。</p>
その他	<p>●地域子育て支援事業</p> <p>令和3年度の開催回数・実績に基づき、各事業の充実を図る</p> <p>○子育てひろばの感染防止対策を踏まえた今後の開催方法の検討と実践。</p> <p>○利用者のニーズに合わせた講座の開催。</p> <p>○子育てひろばの更なる活性化を目指す</p> <p>●利用者アンケート 12月実施予定</p>	<p>●地域子育て支援事業 (R5.3月2日現在)</p> <p>令和4年度 利用登録家庭数 217家庭（内新規登録家庭 39家庭）</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍、区の通達に沿った対応を検討し、参集を避け、利用人数を調整しながら活動を行った。全てのひろば事業を予約制としていたが、7月から一部の活動（「TOYライブラリー」）については予約制ではなく、開催時間内、自由に出入りできるようにし地域の方が気軽に寄れるような場を設けた。 区施設「にこわ新小岩」の開設に伴い、他施設との情報交換会、また、にこわ新小岩と地域ひろば共催によるスタンブラリーの実施や、2ヶ月児・5ヶ月児学級開催に合わせ、出張PRに出向く機会が増え、他施設間との交流が深まった。他施設からの紹介で「からこる」を知り訪ねてくる家庭も増えた。 ひろば事業におけるSNS活用のための研修に参加。 <p>●利用者アンケート 12月実施（回収率：30.0% 満足度：大変満足 76.2%、満足 19%）</p>	<p>●地域子育て支援事業</p> <p>令和4年度の開催回数・実績に基づき、各事業の充実を図る</p> <p>○子育てひろばの感染防止対策を踏まえた今後の開催方法の検討と実践。</p> <p>○「からこる」利用者ニーズを合わせた子育て講座の開催</p> <p>○他施設と連携を取りながら、子育てひろばの更なる活性化を目指す。</p> <p>○ひろば事業におけるSNSの本格的な実施</p> <p>●利用者アンケート 12月に実施</p>

<前 年 度>

令和5年度 たつみ保育園 事業計画 (案)

作成 令和5年3月1日

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和5年度 事業計画																																										
利用定員	<p>●事業定員</p> <p>◎通常保育 合計 116名</p> <table border="1" data-bbox="270 296 700 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>合計 116 (人)</p> <p>◎特別保育 一日定員数</p> <p>一時保育 10名、病後児保育 4名 休日保育 10名</p> <p>合計 24名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	15	18	24	25	25	<p>●実績人員</p> <p>◎通常保育 (令和5年2月現在) 合計 106名</p> <table border="1" data-bbox="750 296 1522 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> </table> <p>◎年度途中の入退園</p> <p>入園…0歳児 1名、1歳児 1名、2歳児 0名、3歳児 0名、4歳児 0名、5歳児 0名 退園…0歳児 0名、1歳児 1名、2歳児 1名、3歳児 2名、4歳児 0名、5歳児 0名</p> <p>◎特別保育 年間利用人数: 2月現在</p> <p>一時保育 295名、緊急一時保育 12名、病後児保育 95名、休日保育 222名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	15	17	21	22	22	<p>●予算定員</p> <p>◎通常保育 合計 114名</p> <table border="1" data-bbox="2041 296 2813 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> </table> <p>◎特別保育 一日定員</p> <p>一時保育 10名、病後児保育 4名、休日保育 10名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	15	18	24	24	24
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	9	15	18	24	25	25																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	9	15	17	21	22	22																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	9	15	18	24	24	24																																							
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 監督職 1名 一般職 19名 非常勤職員 23名</p> <p>合計 45名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 監督職 1名 一般職 20名 (内3名 令和5年3月末まで育児休業取得中) 非常勤職員 27名 (内2名 令和5年3月末まで育児休業取得中)</p> <p>令和4年度3月退職職員 合計8名 (内 正規保育士3名、子育て支援員1名、保育補助3名、調理員1名)</p> <p>◎年度途中の入退職・異動など</p> <p>入職…5月: 正規保育士 1名 9月: 非常勤保育士 1名 7月: 保育補助 1名 異動…7月~9月: 正規職員 1名 御蔵島村保育園へ異動 退職…なし</p> <p>合計 50名 (2月現在)</p>	<p>●予算人員</p> <p>※令和5年4月</p> <p>退職…正規保育士 3名 子育て支援員 1名 保育補助 3名 調理員 1名</p> <p>採用…正規保育士 3名 短時間非常勤保育士 1名 異動…正規保育士 ひのか保育園から 2名 らる学童から 1名</p> <p>施設長 1名 管理職 (副園長) 1名 事務局長・ひのか保育園副園長兼務 監督職 1名 一般職 24名 (内1名産前産後休暇・育児休業取得予定) (内1名育児休業取得予定)</p> <p>非常勤職員 23名</p> <p>合計 50名</p>																																										
処遇の特 例事項	<p>●感染症の状況</p> <p>4・5・6・7・12・1・2月 胃腸炎 25名 / 5・6・8・10・11・12月 突発性発疹 7名 6・7・2月 感染性胃腸炎 8名 / 4・5・6・7・8・11・12・1月 新型コロナウイルス 59名 8・9月 RSウイルス感染症 5名 / 8月 ヘルパンギーナ 2名 / 7・8・9月 手足口病 44名 9月 流行性耳下腺炎 1名 / 10月 流行性角結膜炎 1名 / 1月 インフルエンザ 5名 ※4・5・6・7・8月 新型コロナウイルス感染症 職員 13名 新型コロナウイルス感染症 1歳児 5名 7月 26日~8月 4日までクラスター認定 5歳児 7名 11月 27日~12月 25日までクラスター認定</p> <p>●事故発生件数…受診を要する怪我 41件</p> <p>顔面裂創 / 引っ掻き傷 / 左眼瞼挫創 / 左眼瞼裂傷 / 切創 / 顔面擦過創 2件 / 頭部打撲傷 / 異物誤飲 / 右頬部皮膚感染症 / 右上乳中切歯外傷性亜脱臼 / 上口唇挫創 / 歯牙打撲 / 前額部挫創 2件 / 顔面挫創 / 眼瞼裂傷・右眼球打撲 / 右眼球打撲 / 嚙創 / 口唇部裂傷 / 擦過創 3件 / 左拇指挫創 / 上唇小帯裂傷 / 上唇小帯裂傷・上口唇裂傷・右上乳中切歯打撲 / 擦過傷 2件 / 右足関節痛・右足関節捻挫 / 右下顎部皮膚感染症 / 左眼球打撲・眼瞼挫創 / 顔面挫創・打撲 / 結膜炎・両結膜異物 / 右足捻挫 / 上唇小帯打撲 / 右眼瞼挫創 / 右眼球打撲傷・結膜炎 / 肘内障疑い / 結膜挫創 / 打撲症・皮下出血 / 打撲症</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし。 (2月現在)</p>		<p>●感染症予防・拡大防止対策</p> <p>・マニュアルに基づき、インフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に関する、葛飾区からの通知や指示に従い、国及び東京都の情報も参考にしながら、感染拡大防止策に努める。</p> <p>●事故・怪我処置対応</p> <p>・マニュアルに基づいた対策を行い、浸透を図る。</p>																																										

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
重点項目	<p>①保育の質の向上</p> <p>○日常の当たり前に目を向け、児童の姿から暮らしや関わり方について見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たつみで大切にしていることを職員間で共有しながら、保育の考察を繰り返す。 <p>○児童の育ちについて保護者と共有してゆく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の育ちについて保護者と共有できる方法を学び、実践に移してゆく。又、児童と職員や職員同士での保育の振り返りにも活用してゆく。 <p>②子どもの育ちを支える環境づくり</p> <p>○児童の姿から、熱中できる環境や居心地の良い保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なヒト・モノ・コトとの出会いから生まれる、児童の思いや興味・関心を探り、園舎内外の環境をつくってゆく。 <p>③安心・安全な保育</p> <p>○安全管理や危機管理の意識を強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策委員会の意義を明確にし、発生した事故の検証を丁寧に行う等し、再発防止に努める。保育環境を点検した際の気づき（ヒヤリ）をその都度共有し、迅速な改善に努める。 <p>○マニュアルの整理や改訂したマニュアルの浸透化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が重複している書類やわかりにくい書類の整理を行う。 ・昨年度改訂したマニュアルも含め、読み合わせを計画的に行う。 ・災害時に関するマニュアルを活用した園内研修や、訓練の振り返りを行い、柔軟に対応が出来るよう備える。 <p>④チーム力の向上</p> <p>○行動の目的意識を共有し、協働しながら物事に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の役割を明確にし、目的意識を高める。一人ひとりが自覚を持ち主体的に行動してゆく。 <p>○互いに学び合い、高め合う関係性を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階層別チームを再編成。各チームごとに学びのテーマを決め、対話を重ねながら実践や振り返りを繰り返してゆく。 ・個々の学びを職員間で共有し、一人ひとりが保育力を身につけてゆく。 	<p>① 保育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で“たつみで大切にしていること”（平成30年度作成）【別紙添付】について職員全体で読み解き、改めて作成までのプロセスを共有し、丁寧な保育実践に繋げた。 ・各行事を実施する際、改めて『行事の在り方』について職員間で話し合い、子どもの声を聴きながら作り上げることを大切にされた。また、行事後の子どもの姿を振り返り、行事を行う上で、七台となる大事にしてゆきたいことを整理した。 ・『記録について』の外部研修を受講した職員が園内研修を行い、学びの共有をした。また、廊下掲示や保護者会等で写真に言葉を添え保護者に提示することで、日常の中で見られる子どもの育ちや姿を保護者と共有することが出来た。 ・父親ボランティアを通して、保護者と職員が協働しながら作業をする中で会話が生まれ、子どもの育ちや姿について共有することができた。 <p>② 子どもの育ちを支える環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス担当が『心地よい環境』や『熱中できる環境』づくりとして子どもの姿に沿った環境を考察。保育室内の収納方法や園庭の玩具棚、ソファの設置等、環境改善を行い、児童が過ごしやすい環境となった。 ・同法人内の施設見学に行き、感じたことを職員間で共有してゆく中で、課題が見出され、環境改善のきっかけとなった。 <p>③ 安心・安全な保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察署員による防犯訓練、消防隊員による総合避難訓練（消火・通報訓練）、看護師による心肺蘇生法やAED使用法、溺水についての園内研修を実施。全職員が参加したことで、職員一人ひとりの危機管理や安全管理、衛生管理が強化された。 <p>○『安心・安全な保育』の縦割り階層チームで危機管理マニュアルの整理、改訂を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他園で起きた『送迎バスへの置き去り事故』を受け、改めて児童の人救確認方法についての見直しを行い登園状況の確認方法や欠席児の連絡方法を改訂した。また、全職員で『適切な保育』を念頭に置き日々の保育を振り返り、見直し、職員の意識向上に繋げた。 ・園内で発生した事故について安全対策委員会が、原因の考察や再発防止策を見出し職員に周知することで安全管理や危機管理の意識が強化された。 <p>④ チーム力の向上</p> <p>○『個人研修計画・評価シート』を基に職員一人ひとりの目標や課題を明確化した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規非正規問わず外部研修へ積極的に参加し、知識を得るだけでなく職員間で学びを共有することで保育への意識が高まった。 ・主任、副主任、リーダー層、中堅層で園の課題を抽出し、職員会議の企画・運営を行い、課題解決に繋げた。 ・新任層を対象に、リーダー層が『電話・申し送り』『保護者面談』のロールプレイングを実施。また、各階層がそれぞれ学んでゆきたいテーマを決め、『遊び』や『暮らし』について考察→実践→振り返りを繰り返すことで、一人ひとりの保育力が高まり、チーム力の向上に繋がった。 	<p>① 保育の質の向上</p> <p>○児童が『心躍る』『居心地のいい』環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味・関心を持っているモノやコトを捉えた環境づくりを行ってゆく。 ・『環境について』の学びを深め、自園の実践に繋げる。 <p>○『たつみで大切にしていること』を原点とし、職員間で保育の考察や実践を繰り返してゆく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“大切にしたい暮らしとは？”を再考してゆく。 ・児童の発見や遊びの深まりを、保護者と共有する方法を見出してゆく。 <p>② チーム力の向上</p> <p>○安心・安全な保育の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の安全確保に関する取り組みを『保育所安全計画』にそって行う。 ・安全対策委員会の定期的な開催を目指す。発生した事故の検証に限らず、日常の児童の心模様の変化にも着目し、児童の安心・安全な暮らしを作る。 ・改訂したマニュアルの浸透化を図り、実際に事故や怪我、災害が起きた際、迅速に対応が出来るよう備える。 <p>○階層別チームを編成し、一人ひとりの強みや学びを生かしながら、チーム力の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り階層チームを再編成し、それぞれのチームが取り組む課題や目標について考察し実現してゆく。 ・各階層の育成について方向性を明確化し、一人ひとりが役割を自覚し実践してゆくことで、チーム力の向上を図る。
その他	●東京都福祉サービス第三者評価の受審	●東京都福祉サービス第三者評価 1月に実施（回収率43.5%） 3月に要望・意見に対する回答を作成し、保護者に書面を配布予定	●東京都福祉サービス第三者評価 実施予定なし ●葛飾区主催利用者アンケート実施

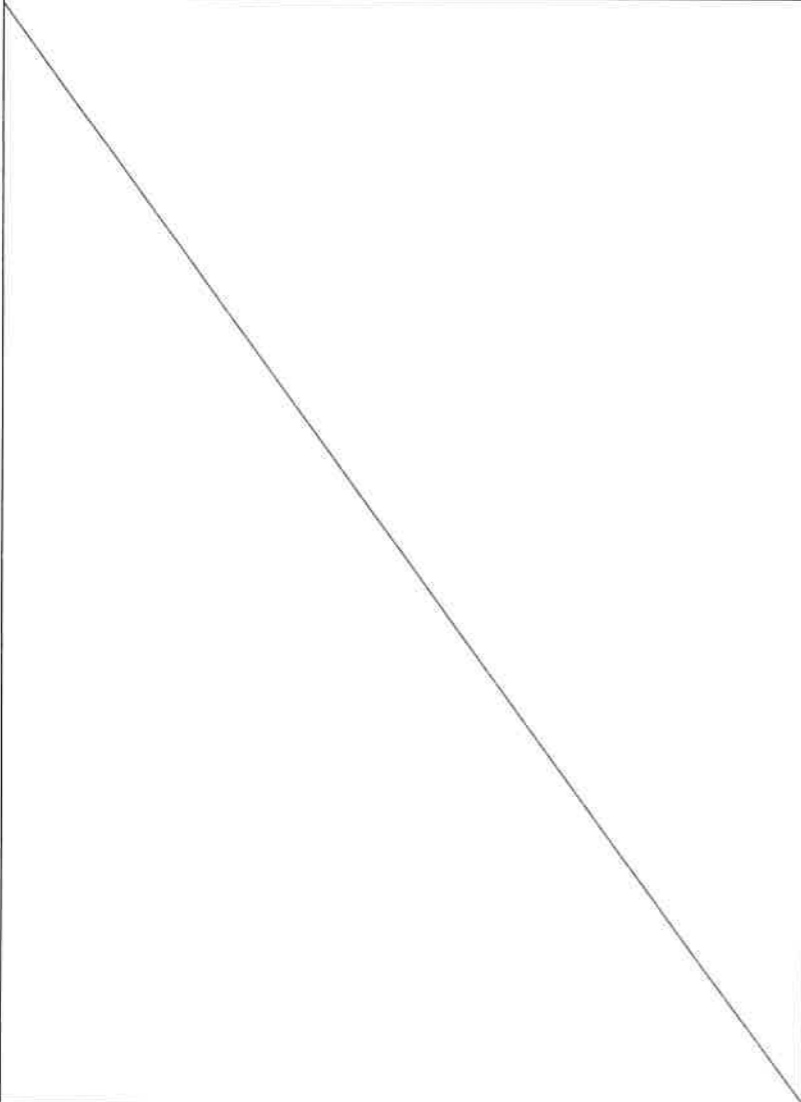
<前 年 度>

令和5年度 ひのか保育園 事業計画 (案)

作成 令和5年2月27日

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和5年度 事業計画																																										
利用定員	<p>●事業定員</p> <table border="1" data-bbox="261 275 869 373"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">合計 166人</p> <p>●特別保育事業 一日定員 一時保育 10名</p> <p style="text-align: right;">合計 10名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	18	24	24	33	33	34	<p>●実績人数 (令和5年2月現在)</p> <table border="1" data-bbox="899 275 1685 373"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">合計 147人</p> <p>○年度途中の入退園児 入園・・・0歳児0名、1歳児1名、2歳児2名、3歳児3名、4歳児0名、5歳児1名 退園・・・0歳児0名、1歳児1名、2歳児1名、3歳児1名、4歳児5名、5歳児0名</p> <p>○特別保育事業 年間利用人数 (2月現在) 一時保育 378名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	18	24	24	27	21	33	<p>●予算定員</p> <p>◎通常保育 合計 131名</p> <table border="1" data-bbox="2018 321 2656 415"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎特別保育 一時保育 一日定員 10名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	15	20	24	24	24	24
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	18	24	24	33	33	34																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	18	24	24	27	21	33																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	15	20	24	24	24	24																																							
職員配置	<p>●配置計画</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 (副園長) (事務局長、たつみ保育園副園長兼務) 監督職 2名 一般職 31名 (内1名育児休業予定) 非常勤職員 19名 (内1名育児休業取得中) 合計 54名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 (副園長・事務局・たつみ保育園副園長兼務) 監督職 2名 一般職 32名 (内1名育児休業取得中) 非常勤職員 21名 合計 57名 令和4年度3月退職職員 計3名 (正規看護師1名、正規保育士1名(雇用変更)、非常勤保育士1名)</p> <p>○年度途中の入退職・異動など 入職・・・8月 正規看護師 2名、9月 正規保育士(うらら保育園より異動) 1名 保育補助 1名 11月 保育補助 1名、2月 短時間調理員 1名 退職・・・6月 正規看護師 1名、1月 正規栄養士 1名 2月 正規看護師 1名 保育補助 1名 (2月現在)</p>	<p>●予算人員</p> <p>*令和5年4月 退職・・・正規看護師1名、非常勤保育士1名、正規保育士1名(非常勤保育士へ雇用変更) 採用・・・正規保育士4名(内1名非常勤保育士から雇用変更)、非常勤保育士1名 異動・・・正規保育士 うらら保育園へ3名 たつみ保育園へ2名 保育補助 西新小岩在宅サービスセンターへ介護職として1名</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 (副園長・事務局長・たつみ保育園副園長兼務) 監督職 2名 一般職 29名 非常勤職員 20名 合計 53名</p>																																										
処遇の特 例事項		<p>●感染症の状況</p> <p>4・5・6・8・9・11・12・1月 新型コロナウイルス感染症 園児64名、職員24名 5・6月 アデノウイルス感染症 3名 / 8・9月 手足口病 31名 / 8・9月 RSウイルス 感染症 10名 8・12・1月 ウイルス性胃腸炎 6名 / 9月 ハルパンギーナ 1名 5・7・9・10・11・12月 突発性発疹 8名 / 9月 水痘 1名 11・12月 流行性角結膜炎 2名 / 12・1月 インフルエンザウイルス 20名 (2月現在)</p> <p>●事故発生件数…受診を要する怪我 46件 擦過傷(顔)・5件/擦過傷・9件/左頬擦過傷/擦過傷(右頬)/下口唇擦過傷/左目下の擦過傷/歯の生え変わりによるぐらつき/熱傷/外傷による歯牙亜脱臼/下唇挫傷/下口唇裂傷・2件/右肘肘内障/頸部痛・頸椎捻挫/歯牙打撲・5件 爪甲剥離・2件/左眼球打撲傷/足関節捻挫/左前前頭部挫創/脱臼/右眼瞼裂傷/右足背部打撲疑い/左頬部擦過傷/前額部糜爛/肘肘内障疑い/左手薬指打撲/顔面糜爛・2件/左足首打撲/橈骨手根関節亜脱臼疑い (2月現在)</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし ※保護者より、ご意見箱へ投稿いただいた内容は掲示板及びメールにて返答する</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。 *新型コロナウイルス感染症対応について 衛生管理を徹底し、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p> <p>●事故・怪我処置対応…マニュアルに基づいた対策を行い、浸透を図る。</p>																																										

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
重点項目	<p>① 職員育成の強化</p> <p>○職員階層別チームの編成及び園内研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階層別(新任、初任、中堅、リーダー)チームごとに園内研修を行い、「子どもの育ちについて」をテーマに対話を重ねながら保育の学びに繋げる <p>○会議やミーティングの企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー層が中心となり、主任・副主任サポートのもと、会議やミーティングの企画・運営を行い、保育を共に考える場づくりを目指す <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <p>○ミーティングの定期的な開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根っ歩チーム(保育の中の疑問や課題について課題提起していく有志が集まったチーム)を中心にミーティングを重ね、“ひのかの保育”の土壌づくりに繋げていく <p>○行事について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームを作り、各行事をPDCAサイクルを用いながら計画・実行し、行事の振り返りを丁寧に行いながらひのかの行事の軸を作っていく <p>○報告・連絡・相談の仕組みを再構築する</p> <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <p>○安全対策委員会及びクライシスマネジメントチームの再編成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チームの役割を明確にすることで活動の活性化を図り、職員の危険に対する意識を高める ・各チームの定期的なミーティングの開催を行う <p>○子どもにとっての「安全の場所」について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもにとっての安全の場所とは？」を常に考え、リーダー層を中心に職員同士で対話を重ね、「安心」についての共通認識に繋げていく 	<p>① 職員育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に井出陽子氏(開業助産師)を講師に招き、『乳幼児期の性教育について』の園内研修を行った。また、階層別チームを編成し、『人権』をテーマに職員会議や階層別で園内研修を行った。同じテーマで非常勤職員にも研修を行い、全職員が日常や自身を振り返ることで、保育中の言動を見つめ直すきっかけになった。次年度も『人権』に関する園内研修を継続的に行っていく。 ・6月よりリーダー層と共に各月の職員会議の企画を始めた。年間を通して話し合うことで、リーダー層が自ら課題抽出し提案する場面も見られた。また、議題だけでなく「職員同士の対話」を意識した内容にしたことで、話し合いが活性化していた。リーダー層が中心となった会議の運営までには至っていないため、今後会議の一部からでも経験できるような場を設ける。 ・職員会議を企画するメンバー6名のうち4名が保育ファシリテーションスキルアップ研修を受講し、職員が安心して意見を出し合う場づくりについて学んだ。 <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度になり改めて根っ歩チームのねらいや方向性を再検討し、“ひとつ屋根の下で過ごす家族”をテーマに子どものことやクラスのことを話す場づくりを行うことを決定。月案会議の方法等対話を意識した内容に変更した。 ・昨年度に続き、藤田大輔氏(福井工業大学准教授)を講師に迎え、子どもが主体的に遊ぶ園庭環境を目指し園内研修を実施。砂場や柵の設置、玩具の収納を変える等し、子どもの姿や園庭環境について振り返りを行っていった。 ・4つのワーキングチーム(縦割り階層チーム)を編成し、保護者参加以外の行事について担当分けを行った。「行事を通して子どもたちに何を伝えていくのか?」の考えを軸に、各階層の視点や意見を交わしながら行事の在り方を模索した。チーム内の話し合いの中で迷いが出た時には、他職員に意見を求めながら熟考し、子ども達の興味がわくような行事内容になっていた。 ・職員間の情報共有が不足していることもあり、各クラスの現状把握のためにアンケートを実施。個々の受け取り違いや連絡ルートの曖昧さ等があり、一つ一つ見直しが必要であった。また、新たな方法の一つとして、ICTシステムのアプリで情報の共有ができる機能の導入に向け業者の選定を進めた。 <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策委員会及びクライシスマネジメントチームの再編成を行った。安全対策チームでは3チームに分かれ、それぞれ課題抽出し作業を進めた。 「防災・備蓄チーム」→備蓄を再確認し、物品の購入と収納場所の再検討を進めた。1月に炊き出し訓練を実施。 「マニュアルチーム」→アレルギーマニュアル・散歩マニュアルの見直しを行い、改訂を進めた。2月完成予定。 「衛生チーム」→園内の水場の使い方について現状把握を行った。手順書の必要性を感じ、3月中の完成を目指す。 ・4月の職員会議で、園内の事故・怪我が起こりうる場所を予測し、対策を立てた。毎月、振り返り・見直しを行うことで職員の危険に対する意識が高まった。 	<p>① 組織力の向上</p> <p>○職員育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の役割を明確にし、目的意識を持ちながら、主体的かつ協力的に行動していく <p>○報告・連絡・相談の仕組みを再構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談の意味を明確にし、一人一人がその重要性を理解したうえで、新たな仕組みを構築する <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <p>○ひのかの現状を考察し、保育環境について対話する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びや子どもの姿を記録し、それを基に職員や保護者と対話を重ねながら保育を振り返り、保育の充実を図る <p>○職員間の対話の中からひのかで大切にしていきたいことを見出し、実践・考察・振り返りを繰り返す</p> <p>○人権について学びを深め、子どもとの関りについて省察する</p> <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <p>○安全対策委員会の活動の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の事故事例やヒヤリハットメモを活用するなどし、職員の危機意識の向上を図る。 <p>○マニュアルの浸透化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度改訂したマニュアルを含め、読み合わせを計画的に行う。 ・引き続き、各種マニュアルの見直しを進め、必要に応じて改訂する。 <p>○安全計画に基づき、安全確保に関する取り組みを計画的に行う。</p>
その他	<p>○東京都福祉サービス第三者評価の受審</p> <p>○子育てひろば事業(一般型)</p> <p>午前午後の2時間ずつ自由に利用</p> <p>催し物(木の芽の会(離乳食試食会、園庭開放、こぐまの日(地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ))</p>	<p>○12・1月東京都福祉サービス第三者評価による事業受審及び利用者アンケートを実施(回収率 10.9%)</p> <p>大変満足+満足=91.5%</p> <p>○子育てひろば事業(一般型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら利用枠を見直し、利用者数の増加につながった。 ・新小岩地域子育てひろば事業のスタンプラリー(子ども未来プラザ西新小岩主催)に参加。新規利用者も増えた。 	<p>●東京都福祉サービス第三者評価の利用者アンケート実施</p> <p>●子育てひろば事業(一般型)</p> <p>●地域交流スペースの準備</p>

項目	前年度計画	前年度実績(課題)	令和5年度 事業計画																																												
利用定員	<p>●計画人員</p> <table border="1" data-bbox="261 304 765 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計16名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	1名	3名	6名	6名	<p>●実績人員(令和5年3月)</p> <table border="1" data-bbox="1009 304 1513 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計16名</p> <p>○年度途中の入退園 入園 2歳児 1名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	1名	3名	6名	6名	<p>●予算定数等</p> <table border="1" data-bbox="1878 304 2502 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th></th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>合計12人</td> </tr> </table> <p>●執行上の問題点・課題</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		人数	0名	0名	2名	1名	3名	6名	合計12人
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	1名	3名	6名	6名																																									
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	1名	3名	6名	6名																																									
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	2名	1名	3名	6名	合計12人																																								
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>運営受託管理者(保育士) 1名 一般職 1名(保育士) 非常勤職員 5名(保育士資格保有者4名 子育て支援員1名) 合計7名</p>	<p>●実績人員</p> <p>運営受託管理者1名 一般職1名 非常勤職員5名 合計7名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など 異動:一般職1名(7月~9月)</p> <p style="text-align: right;">令和5年2月時点</p>	<p>●予算人員</p> <p>*令和5年4月 異動…正規保育士 御蔵島村保育園へ1名 退職…派遣保育士 1名契約期間満了 運営受託管理者1名 一般職員1名 子育て支援員1名 非常勤職員5名 合計 8名</p>																																												
処遇の特例事項		<p>●感染症の状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症 4月…1名 7月…7名 1月…2名 ※新型コロナウイルス感染症のため、7月25日~8月2日休園</p> <p>●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 3件 内訳…顔面打撲1件、手部挫創1件、左足趾骨折疑い1件</p> <p>●事故発生 ・園内取り残し9月</p> <p>○新型コロナウイルスの情報収集・保護者・職員への注意喚起</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情無し</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。</p> <p>*冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。</p> <p>*新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p>																																												

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
重点項目	<p>①保育環境を考える</p> <p>○子供達の発達、興味、関心、に合わせた環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具の提供方法、どんな遊びが必要かなど、子供達の姿から、環境づくりを行っていく。 <p>○共感しながら作る暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供、保護者、職員、友達など、様々な関係の中で、互いに想いを伝えあいながら、共に育つ場所を目指す。 <p>○安全な保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所、子供達の遊び方、育ち、出来事など職員間での周知を徹底し、安心して安全な環境づくりを行っていく。 ・職員研修の実施 <p>②行事の進め方</p> <p>○発見を大切に作る暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びから、行事へのアイデアに繋がるようにする。 ・子供達の言葉や、遊びを記録し、膨らませ、行事へとつなげていく。 <p>○日々の暮らしを丁寧に保護者へ伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、日誌の掲示方法の検討 	<p>①保育環境を考える</p> <p>○子供達の発達、興味、関心に合わせた環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達の関心に合わせた遊びや工作などを用意することはできた。子供達も自ら発想し、人前での発表に繋げ、そういった土台ができることで、行事も無理なく行うことができた。 ・子供一人ひとりの発達を考慮した遊びを考えることができなかった。来年度は運動、表現、心の発達も考慮した環境を考えたい。 <p>○共感しながら作る暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供、保育者、友達同士、様々な場面で話をする機会を設けた。その時の様子を保護者に伝え、成長の様子を伝えるようにした。日々子供から出るアイデアや、それを取り入れた保育の様子を伝えることで、保護者にも子供の成長が伝わった様子。園側の想いを伝える機会が多かったように感じるため、保護者側の想いや、家での子供の様子を聞き取るようにする。 <p>○安全な保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数確認、所在確認で、大きな事故があった。所在確認表を随時使いやすい物に変更しながら、子供の安全を守っていく。 ・子供達の育ちについて、ミーティングの時間を設けることが難しかった。特に後半期は職員が集まらない事も多く、話せていない。やり方を考えていく必要がある。 ・職員の異動や入れ替わりが多かったため、危険な場所、ヒヤリ・ハット、子供の様子等は常に話をして伝えあうようにした。 ・外部講師を招いての研修や、リモート研修への参加をしていく。 <p>②行事の進め方</p> <p>○発見を大切に作る暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事に関しては、子供達からのアイデアを多く取り入れ、それぞれが楽しんで参加することができていた。今後もこの形を続けていきたい。 <p>○日々の暮らしを丁寧に保護者へ伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日誌の貼り出し方法を変更した。玄関周りの内装も踏み込みたくなるような玄関を心掛けた。帰りに日誌を見られなかった保護者も、朝の送りの時間に目を通してしている様子がある。日誌の内容自体は変更していないため、内容について検討していく。 ・行事へ向かう際の子供達の様子を写真や話した内容と共に掲示。日々の遊びが行事になっていることがわかるように貼り出した。今後も分かりやすい貼り出し方法を考えていく。 	<p>①保育環境を考える</p> <p>○子供達の“やりたい”想いを引き出す保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達の姿を見ながら、色々な遊びを提案し、子供達からの発想から遊びが産まれる場所 ・発達に合わせた遊びや、子供達同士のやり取りを丁寧にサポートし、安心して過ごせる場所 ・地域の価値を伝え、人、自然、文化との繋がりを感ずることができる場所 <p>○安全な保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所、子供達の遊び方、育ち、出来事、保育を通して感じたことなど、職員間で周知できる時間を作り、安全、安心について考えていく。 <p>②行事の進め方</p> <p>○子供達の“やりたい”想いが形になる保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びから、行事へのアイデアに繋がるようにする。 ・一人ひとりの子供が“自分を表現したい”と思える場書を作っていく。 <p>○日々の暮らしから行事に繋がっていく様子を伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、日誌の掲示方法の検討

<p>重点項目</p>	<p>前年度からの持ち越し事項</p> <p>①保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの悩みを相談しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・小部屋を利用して、気軽に話ができる場所を提供する ○保護者を対象としたイベントの計画 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて、子育て講座やワークショップの開催 <p>②園庭側の出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道の修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が使いやすい高さに修繕する。 ○屋根の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日も外通路を使用できるようにし、出入り口としてりようできるようにする <p>③園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○劣化した遊具の修繕を行う <p>※前年度からの持ち越し事項においては、継続して進め、時期をみて実施する。</p>		<p>前年度からの持ち越し事項</p> <p>①保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの悩みを相談しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・小部屋を利用して、気軽に話ができる場所を提供する ○保護者を対象としたイベントの計画 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて、子育て講座やワークショップの開催 <p>②園庭側の出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道の修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が使いやすい高さに修繕する。 ○屋根の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日も外通路を使用できるようにし、出入り口としてりようできるようにする。 <p>③安全な保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの時間を作ることが難しく、じっくり職員間で話すことができなかったため、話し合いの場を設けて安全、環境、子供達の育ちについて話す機会を作っていく。 <p>※前年度からの持ち越し事項においては、継続して進め、時期をみて実施する。</p>
-------------	---	--	---

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和5年度 事業計画																																																																																																									
	りりたつみ	西新小岩あや	りりたつみ	西新小岩あや	りりたつみ	西新小岩あや	執行上の問題点、課題																																																																																																							
利用定員	<p>●事業定員 40名 *内 障がい児1名</p> <p>●予算定数 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>10</td></tr> <tr><td>2年</td><td>10</td></tr> <tr><td>3年</td><td>13</td></tr> <tr><td>4年</td><td>6</td></tr> <tr><td>6年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>40</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	10	2年	10	3年	13	4年	6	6年	1	合計	40	<p>●事業定員 109名 *内 障がい児9名</p> <p>●予算定数 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>24</td></tr> <tr><td>2年</td><td>27</td></tr> <tr><td>3年</td><td>32</td></tr> <tr><td>4年</td><td>15</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	24	2年	27	3年	32	4年	15	5年	1	合計	99	<p>●実績 3月 現在児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> <th>入退数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>9</td><td>退：1</td></tr> <tr><td>2年</td><td>9</td><td>退：1</td></tr> <tr><td>3年</td><td>9</td><td>退：4</td></tr> <tr><td>4年</td><td>5</td><td>退：1</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td><td>入：1</td></tr> <tr><td>6年</td><td>2</td><td>入：1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>35</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児1名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	9	退：1	2年	9	退：1	3年	9	退：4	4年	5	退：1	5年	1	入：1	6年	2	入：1	合計	35		<p>●実績 3月 現在児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> <th>入退数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>26</td><td>入：2</td></tr> <tr><td>2年</td><td>25</td><td>入：1退：3</td></tr> <tr><td>3年</td><td>28</td><td>退：5</td></tr> <tr><td>4年</td><td>7</td><td>退：6</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>88</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児9名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	26	入：2	2年	25	入：1退：3	3年	28	退：5	4年	7	退：6	5年	1		合計	88		<p>●予算定数 40名 *内 障がい児1名</p> <p>4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>7</td></tr> <tr><td>2年</td><td>10</td></tr> <tr><td>3年</td><td>8</td></tr> <tr><td>4年</td><td>9</td></tr> <tr><td>5年</td><td>5</td></tr> <tr><td>6年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>40</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	7	2年	10	3年	8	4年	9	5年	5	6年	1	合計	40	<p>●予算定数 109名 *内 障がい児10名</p> <p>4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>43</td></tr> <tr><td>2年</td><td>25</td></tr> <tr><td>3年</td><td>23</td></tr> <tr><td>4年</td><td>17</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>109</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	43	2年	25	3年	23	4年	17	5年	1	合計	109	
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	10																																																																																																													
2年	10																																																																																																													
3年	13																																																																																																													
4年	6																																																																																																													
6年	1																																																																																																													
合計	40																																																																																																													
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	24																																																																																																													
2年	27																																																																																																													
3年	32																																																																																																													
4年	15																																																																																																													
5年	1																																																																																																													
合計	99																																																																																																													
学年	在籍人数	入退数																																																																																																												
1年	9	退：1																																																																																																												
2年	9	退：1																																																																																																												
3年	9	退：4																																																																																																												
4年	5	退：1																																																																																																												
5年	1	入：1																																																																																																												
6年	2	入：1																																																																																																												
合計	35																																																																																																													
学年	在籍人数	入退数																																																																																																												
1年	26	入：2																																																																																																												
2年	25	入：1退：3																																																																																																												
3年	28	退：5																																																																																																												
4年	7	退：6																																																																																																												
5年	1																																																																																																													
合計	88																																																																																																													
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	7																																																																																																													
2年	10																																																																																																													
3年	8																																																																																																													
4年	9																																																																																																													
5年	5																																																																																																													
6年	1																																																																																																													
合計	40																																																																																																													
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	43																																																																																																													
2年	25																																																																																																													
3年	23																																																																																																													
4年	17																																																																																																													
5年	1																																																																																																													
合計	109																																																																																																													
職員配置	<p>●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員 児童支援員8名 （内非常勤6名） 補助員1名</p>	<p>●実績人員 児童支援員3名 （内非常勤1名）</p> <p>●年度途中の入職・退職 7月中旬 児童支援員1名 入職</p> <p>●年度途中の異動 8月 児童支援員1名 うらら保育園へ異動</p>	<p>●実績人員 児童支援員8名 （内非常勤6名） 補助員1名</p> <p>●年度途中の入職・退職・異動 〇なし</p>	<p>●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員 児童支援員7名 （内非常勤4名） 補助員1名</p>																																																																																																								
処遇の特例事項			<p>●感染症 5・7・9・10・11・1月 新型コロナウイルス感染症 児童18名 職員1名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我1件（前期報告済み） 1件 右手拇指 IP 関節側副韌帯損傷</p>	<p>●感染症 4・7・8月 新型コロナウイルス感染症 児童28名 職員2名</p> <p>11・1月インフルエンザ 児童6名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 2件（前期報告済み）</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…児童の衛生習慣の定着化を図る。また、新型コロナウイルスについては、行政や関係機関からの情報収集を適切に行い、感染予防に努める。</p>																																																																																																									
<p>●安全管理 ・6月 フェンス土台のブロック保護設置。 ・11月 排煙窓修繕工事。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、行政からの情報収集・指示に従い、その都度各家庭へ伝達した。また、各小学校と連携を図り安全管理に努めた。</p>			<p>●安全管理 ・10月防犯カメラ移設。 ・施設内外の老朽化所の安全点検の実施。 ・同左</p>																																																																																																											
<p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>			<p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>																																																																																																											

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和年5度 事業計画																																																																													
	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	執行上の問題点、課題等																																																																											
利用定員	<p>●事業定員 80名 *内 障がい児2名</p> <p>●予算定数 80名 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>38</td></tr> <tr><td>2年</td><td>39</td></tr> <tr><td>3年</td><td>3</td></tr> <tr><td>合計</td><td>80</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	38	2年	39	3年	3	合計	80	<p>●事業定員 32名 *内 障がい児1名</p> <p>●予算定数 32名 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td></tr> <tr><td>2年</td><td>7</td></tr> <tr><td>3年</td><td>25</td></tr> <tr><td>合計</td><td>32</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	7	3年	25	合計	32	<p>●実績 3月 現在児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>36</td><td>退:2</td></tr> <tr><td>2年</td><td>36</td><td>退:3</td></tr> <tr><td>3年</td><td>6</td><td>入:5退:2</td></tr> <tr><td>4年</td><td>1</td><td>入:2退:1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>79</td><td></td></tr> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児2名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	36	退:2	2年	36	退:3	3年	6	入:5退:2	4年	1	入:2退:1	合計	79		<p>●実績 3月 現在児童（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>2年</td><td>6</td><td>退:1</td></tr> <tr><td>3年</td><td>25</td><td>入:1退:1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>31</td><td></td></tr> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児1名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	0		2年	6	退:1	3年	25	入:1退:1	合計	31		<p>●予算定数 61名 *内 障がい児4名 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>52</td></tr> <tr><td>2年</td><td>5</td></tr> <tr><td>3年</td><td>4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>61</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	52	2年	5	3年	4	合計	61	<p>●予算定数 32名 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td></tr> <tr><td>2年</td><td>24</td></tr> <tr><td>3年</td><td>7</td></tr> <tr><td>4年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>32</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	24	3年	7	4年	1	合計	32	
学年	在籍人数																																																																																	
1年	38																																																																																	
2年	39																																																																																	
3年	3																																																																																	
合計	80																																																																																	
学年	在籍人数																																																																																	
1年	0																																																																																	
2年	7																																																																																	
3年	25																																																																																	
合計	32																																																																																	
学年	在籍人数	入退数																																																																																
1年	36	退:2																																																																																
2年	36	退:3																																																																																
3年	6	入:5退:2																																																																																
4年	1	入:2退:1																																																																																
合計	79																																																																																	
学年	在籍人数	入退数																																																																																
1年	0																																																																																	
2年	6	退:1																																																																																
3年	25	入:1退:1																																																																																
合計	31																																																																																	
学年	在籍人数																																																																																	
1年	52																																																																																	
2年	5																																																																																	
3年	4																																																																																	
合計	61																																																																																	
学年	在籍人数																																																																																	
1年	0																																																																																	
2年	24																																																																																	
3年	7																																																																																	
4年	1																																																																																	
合計	32																																																																																	
職員配置	<p>●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤1名） 補助員1名 子ども総合プラン：児童支援員2名 （内施設長兼務1名） （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員 児童支援員2名 （内非常勤1名） 補助員1名</p>	<p>●実績人員 児童支援員3名（内非常勤1名） 子ども総合プラン 児童支援員2名 （内施設長兼務1名 非常勤1名）</p> <p>●年度途中の入職・退職 ○8月 補助員1名退職</p> <p>●年度途中の異動 ○なし</p>	<p>●実績人員 児童支援員2名（内非常勤1名） 補助員1名</p> <p>●年度途中の入職・退職 ○なし</p>	<p>●予算人員 児童支援員4名（内非常勤2名） 子ども総合プラン：児童支援員2名 （内施設長兼務1名） （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員 児童支援員3名（内非常勤2名）</p>	<p>学童全体退職・採用 令和5年4月 退職…正規児童支援員1名 採用…正規児童支援員1名</p>																																																																											
処遇の特例事項	<p>◎子ども総合プラン ・夏季一時学童保育を実施 （7月21日～8月31日） 場所：小松南小学校 家庭科室 1年生2名 2年生1名 3年生3名が人会した。 ・小松南小学校わくチャレ共通プログラム実施</p>		<p>●感染症 4・7・8・9・10・11・12・1月 新型コロナウイルス感染症 児童36名 職員2名/1月 水痘 1名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 3件（内頭部外傷2件 眼打撲傷点状裂傷角膜炎 右前歯脱臼）</p> <p>●安全管理 ・8～10月 小松南小トイレ工事車両出入りに際し、児童や家庭へ注意喚起をし、緊急メール配信を行った。 ・9月 行政からの指示に従い、機械整備を開始した。 ・10～11月 玩具棚・備蓄棚設置。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、行政からの情報収集・指示に従い、その都度各家庭へ伝達した。また、小学校と連携を図り安全管理に努めた。</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症 6・7・8・10・12・1月 新型コロナウイルス感染症 児童11名 職員3名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 2件（前期報告済）</p> <p>●安全管理 ・4月 火災報知機の点検。 ・施設内外の老朽化所の安全点検の実施。</p> <p>●同左</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…児童の衛生習慣の定着化を図る。また、新型コロナウイルスについては、行政や関係機関からの情報収集を適切に行い、感染予防に努める。</p> <p>○葛飾区委託事業「放課後子ども総合プラン」の実施 ・小松南小学校わくチャレ共通プログラム ・夏季一時学童保育</p>																																																																													

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和5年度 事業計画	
重点項目	<p><全学童 共通></p> <p>①安心な保育</p> <p>○豊かな遊びや経験を通して、安心できる居場所をつくる。</p> <p>○保護者・関係機関と連携を図り、児童が日々の生活を円滑に過ごす。</p>		<p><全学童 共通></p> <p>①安心な保育</p> <p>○遊びや事柄に特化した人の存在を知り、仲間同士で切磋琢磨しながら、関係性を深め、安心できる居場所づくりをしていった。</p> <p>○保護者・関係機関と、定期的に情報交換を行い、児童の姿を共有し、一人ひとりの支援へ活かした。</p>		<p><全学童 共通></p> <p>①安心な保育</p> <p>○児童が主体となり、対話（児童達の話し合いの場）を重ねながら、暮らしを創りだす。</p> <p>○日々の暮らし、児童の育ちを可視化し、保護者と共有する。</p>	
	<p>らる第一</p> <p>●心も体も発散できる場や、素材の充実を図る。</p> <p>らる第二</p> <p>●「面白い」「やってみたい」から夢中になって遊べる環境をつくる。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●異年齢の関係を通して、共に遊ぶ楽しさを分かち合う保育。</p> <p>あや</p> <p>●ICT システムを導入、運用し、児童の安全管理に努め、保護者と関係を繋ぐ。</p>	<p>らる第一</p> <p>●児童の姿を追い、声に耳を傾け、その気持ちに沿った素材の提供と、心も体も発散できる環境を整えた。</p> <p>らる第二</p> <p>●アイデアを実現するために、仲間と協力し、達成感を感じ、次にやってみたい事への意欲に繋がった。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●異年齢で壁画の共同活動をした事により、関係性が広がり、共に遊ぶ楽しさを感じた。</p> <p>あや</p> <p>●全学童、ICT システムの導入により、入退室管理、保護者への連絡等が取りやすくなり、安心・安全な保育へと繋がった。</p>	<p>らる第一</p> <p>●好きな人・遊びをきっかけに、仲間関係を深め、安心できる居場所づくりをする。</p> <p>らる第二</p> <p>●多様な価値観に触れ、個々を尊重しながらも、仲間と育ちあう関係づくりを支援する。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●様々な体験を通し、迷いや気づきを、仲間と一緒に考える力を育む。</p> <p>あや</p> <p>●行事・食体験・遊び等、児童がやりたい事を、主体的に企画・実施し、暮らしを創りだす。</p>
	<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための安全管理</p> <p>・防災時に、持ち出しに必要な物を見直し、職員間で共有を図る。</p> <p>・昨年同様、災害時3日分の備蓄品、医薬品を確保し、置き場を検討する。</p> <p>・様々な事態を想定した防犯訓練を、年2回以上行い、緊急事態に備える。また、防犯用品を確保する。</p> <p>○安全対策を講じる</p> <p>・リスクマネジメントチームを立上げ、事故や怪我の防止と発生時の対応を分析し、安全管理に努める。</p> <p>・事故や怪我発生時のシミュレーションを行い、迅速な初期対応を目指す。</p> <p>・マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。</p>		<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための安全管理</p> <p>・災害時、持ち出しが必要な書類、警戒宣言発令時の対応手順書を見直し、防災ファイルを作成した。</p> <p>・備蓄品棚を新たに設置した事により、災害時3日分の備蓄品、医薬品を確保した。</p> <p>・消防署員や警察署員による訓練後、振り返りや自主訓練を行い、意識を高めた。また、警察署員に防犯用品について、専門的なアドバイスをもらい、非常通報装置増設及び、発報確認ランプ、窓の二重ロックを設置し、安全な保育環境を整えた。</p> <p>○安全対策を講じる</p> <p>・静岡の保育園のバス事故及び、虐待事件を受け、危機管理チームが中心となり、10月人数把握の方法、12月人権研修を行った。ICT化の中の新たな人数把握の方法を見直した。また、職場倫理を読み合わせ、不適切な保育の具体的な行為・言葉・起こる原因や対策を共有し、当事者意識をもって保育に当たった。</p> <p>・熱中症・嘔吐処理・誤食及びエビベン使用のシミュレーションを行い、マニュアルを見直し有事に備えた。</p>		<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための事前の備え。</p> <p>・BCP（事業継続計画）を見直し、緊急時の連絡体制を整備する。</p> <p>・あや学童については、防犯性の高い門へ取り換え、不審者侵入防止のための措置を図る。</p> <p>・定期的な訓練を行うと共に、児童が自ら安全を守るための行動について学べるように援助する。</p> <p>○安全対策を講じる。</p> <p>・安全計画を策定し、訓練や研修等の児童の安全確保に関する取り組みについて、年間スケジュールを周知し実践する。</p> <p>・緊急時に迅速に対応できるように、必要な学童に、AED（自動体外式除細動器）を設置する。</p> <p>・児童が安全に過ごすために、マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。</p>	

	<p>③人材育成の強化</p> <p>○チームビルディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが主体性をもち、組織の目標を達成できるチームを構築する。 ・ICT システムを導入し、事務の効率化を図り、対話する時間を確保し、コミュニケーションをとり、関係性を育む。 ・定期的に職員面談を行い、士気を高め、チーム力向上に繋げる。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJT、職員研修体系を基に、新任初任職員の個々に応じた育成を強化する。 ・中堅、リーダー層がファシリテーターとなり、職員会議の企画、運営を行う。課題に沿ったテーマを抽出し、保育の質の向上を目指す。 ・オンライン外部研修に参加し、得た学びを共有する。 	<p>③人材育成の強化</p> <p>○チームビルディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームビルディングゲームやワークを実施。チームで働くという意識が芽生え、お互いの価値観を尊重し合う事により、協力関係が生まれていった。 ・ICT の活用により、業務の効率化を図った。その結果、保育を語る時間や、専門性の向上のための時間を確保する事が出来、関係づくりの向上へと繋がった。 ・定期的に職員面談を行うと共に、何気なく交わされる雑談を通して、職員の気持ちを感じ取り、その時々に必要な支援をした。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTシートを基に、4か月に1回、現状の能力を把握した。ゴールまでの進捗状況を確認していく中で、認められていると感じたり、成長を実感できる機会となり、新任初任職員の個々に応じた育成に繋がった。 ・中堅、リーダー層がファシリテーターとなり「主体的な保育とは」「伝え手と聴き手」「学童の大切にしたい食について」をテーマに内部研修を実施し、双方向のコミュニケーションを促し、保育の資質向上を図った。 ・外部研修の学びを共有し、職員全体の知識の向上へと繋がった。 	<p>③協働的な組織づくり</p> <p>○支え合い高め合う関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の気づきや感じた事、戸惑った事等を自由に話すミーティング（語らいの場）や、月案・昼礼を定期的に開催し、話し合える関係性を育むことで「共に考える」風土をつくる。 ・目標を共有し、達成するために、お互いを高め合いながら、個の力を発揮できるチームを目指す。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育や研修を通し、学童で大切にしたい保育・行事・食を考察する。 ・中堅、リーダー層が中心となり、職員一人ひとりが、主体的に参画できる会議や、内部研修の場づくりをする。また、記録や写真を活用し、保育実践を振り返り、職員全体の資質向上を目指す。 ・中堅、リーダー層が、個々の課題や役割を自覚し、業務に当たれるよう育成を強化する。
--	---	---	--

令和5年度 事業計画 施設名 小松南らる第 第二・るりたつみ・西新小岩あや学童保育クラブ

< 前 年 度 >

令和5年度 すずうらホーム 事業計画 (案)

令和5年3月1日 作成

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和5年度 事業計画
利用定員	<ul style="list-style-type: none"> ●事業定員 <ul style="list-style-type: none"> ・特養定員 80名 ・短期定員 12名 *特例利用により運営 ●予算定数 <ul style="list-style-type: none"> ・特養=84名×93% *特例利用も含む ・短期= 8名×80% *同上 	<ul style="list-style-type: none"> ●実績人員 (令和5年2月末時点での平均実績) <ul style="list-style-type: none"> ・特養実績・・・平均稼働率 89.37%で推移 年間合計空床日数 2,976日 (入院空床 1,695日、契約解除後空床 1,281日、外泊空床0日) ・短期実績・・・平均稼働率 66.17%で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業定員 <ul style="list-style-type: none"> ・特養定員 80名 ・短期定員 12名 *特例利用により運営 ●予算定数 <ul style="list-style-type: none"> ・特 養 84名×93% *特例利用含む ・短期入所 8名×80%
職員配置	<ul style="list-style-type: none"> ●予算人員 施設長 1名 管理職 2名 (生活相談員兼務) 監督職 1名 (介護係長) 介護支援専門員 2名 管理栄養士 2名 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 28名 非常勤 10名 看護師 常勤 2名 非常勤 4名 事務員 常勤 2名 非常勤 1名 小計 56名 非常勤医師 2名 合計 58名 ※協力病院…5施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●実績人員 (令和5年2月末時点) 施設長 1名 (兼務) 管理職 2名 (生活相談員兼務) 監督職 1名 (介護係長) 介護支援専門員 1名 管理栄養士 2名 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 25名 非常勤 12名 (内、派遣2名) 看護師 常勤 2名 非常勤 4名 (内、派遣1名) 事務員 常勤 2名 (法人本部出向2名) 非常勤 1名 (法人本部出向1名) 小計 54名 非常勤医師 2名 合計 56名 *協力病院…5施設 ●年度途中の入退職・異動など (令和5年2月末時点) 入職 11名 (常勤 5名、非常勤 6名) 退職 5名 (常勤 1名、非常勤 4名) 	<ul style="list-style-type: none"> ●予算人員 (令和5年新規採用内定者は2月末現在で1名) 施設長 1名 管理職 2名 (生活相談員兼務) 監督職 1名 (介護係長) 介護支援専門員 2名 管理栄養士 2名 (常勤2名) 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 28名 (令和5年4月1名入職) 非常勤 10名 (常勤換算 5名) 看護師 常勤 2名 非常勤 4名 (常勤換算 3,3名) 事務員 常勤 2名 非常勤 1名 小計 56名 非常勤医師 2名 合計 58名 ※協力病院…5施設
処遇の特例事項		<ul style="list-style-type: none"> ●感染症の状況 利用者47名・職員22名が新型コロナウイルスに罹患するクラスター発生となった。利用者2名は医療機関に入院、45名は施設内療養となった。 ●事故・怪我発生件数 (保険者への報告事案) ※2月末時点 骨折・・・ 1件 打撲・・・ 2件 その他 (急変・死亡)・・・ 0件 ●苦情解決・・・苦情解決委員が召集される苦情はない 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症予防・拡大防止対策 マニュアルに基づき感染予防対策を実施する。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種やマニュアル作成及び見直しは行政の指示や情報に沿って随時対応する。 ●事故・怪我対応 マニュアルに基づいた対策及び対応を実施する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価を計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●給食委託業者の再選定 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の給食委託業者ミールオンデマンドより期間満了での契約終了の申し出があったため、給食委託業者の再選定が必要となった。 ●東京都福祉サービス第三者評価を計画通りの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年12月から「一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所」で受審中 	<ul style="list-style-type: none"> ●給食委託業者の変更後の安定した食事提供の確保 <ul style="list-style-type: none"> *報連相や定期的なミーティング等を行いながら安定的な食事提供を実施する。 ●東京都福祉サービス第三者評価を計画 <ul style="list-style-type: none"> *第三者評価実施時期については前年度と近い時期で受審予定

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
重点項目	<p>①運営の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特養契約解除後の空床日数を減少し、稼働率の向上を図る。 即日入所可能な待機者を常時5名確保し、計画的に新規面接を実施する。 ○短期入所生活介護事業の稼働安定 感染症対策を踏まえた受入れの実践と新規利用者の確保、リピーターの定着を目指した運営を行う。 ○人材確保と外国人雇用受け入れ体制の構築 直接雇用者の増員を図り、職員の定着と安定した運営を目指す。 外国人人材の受け入れ体制・指導体制を構築し、外国人雇用を目指す。 <p>②サービスの質の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア環境の見直しと環境整備、感染症対策の強化 より安全な居住空間、過ごしやすさの提供を目指した環境整備と日常的に感染症対策を実践し、利用者の健康管理に努める。 ○日々のサービス内容の質を上げると共に、利用者本位のサービス、自立支援を意識したサービスを追求する。また、加算算定要件の理解を深め、より良いサービス提供を実践する。 ○『人材』育成力を高め、職員個々での成長、チームの成長、組織の成長を目指す。また、各職種・各委員会の専門性を高め、協働し、質の高いサービス提供を行う。 <p>③地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民との交流の場をつくる（にじいろマルシェの定期開催等） 行事や交流の場を通して利用者・職員が地域へ参加できる機会を作る。 ○地域資源としての施設の有効活用 施設を地域資源として活用していただく機会が減っているため、どのような活用方法があるのか検討し、地域と共有する。 	<p>① 運営の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空床解消のため新規入所の面接・調整を行ったが、入所と同数以上の退所が続き、空床解消に至らなかった。 ○感染状況を鑑みて慎重に運営方法を検討した。また、毎月の委員会会議を実施することで、利用が定着するよう日々のサービス内容・個別対応について課題を抽出・対応策を検討し、周知・実践した。 ○人材確保と外国人雇用受け入れ体制の構築 外国人実習生を通し職員理解が出来るように外国人実習生マニュアル（心得）を作成するとともに、外国人人材を雇用した際のマニュアルを作成した。 <p>② サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア環境の見直しと環境整備、感染症対策の強化 新型コロナワクチン接種、インフルエンザ予防接種を計画的にすすめる、対策を講じながら家族の対面面会を継続している。 ○各部署・委員会の目標管理を続け、委員長会議で進捗を確認・共有するとともに、他者からの評価を意識した取り組みを行った。施設内研修の内容の検討を重ね、グループワークを多く取り入れ、研修資料を残せる形のものにした。 ○外部講師によるリーダー研修を行い、リーダーが自身の立ち位置を理解・見直し、自身の介護観、リーダーとしてどうあるべきか、人材育成のステップ等を学んだ。 育成委員のスキルアップのため、個人の目標管理を行い、自身の課題・他者から見た課題などを意識することで自身の行動変容に繋がる取り組みを行った。 <p>③ 地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○にじいろマルシェを定期開催し、地域住民との交流の場としている。 来場者や出店者も増え、多くの繋がりができた。 ○コロナ禍における、地域との交流が図れる場（催し物や会合）の情報収集を行った。 	<p>①運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老朽化に伴う設備の修繕・環境整備 ・利用者が安心・安全に生活できる環境を整備する。 ○人材の確保と育成 ・外国人マニュアルを基に受け入れ体制を構築する。 ・人材確保を継続的に実施。 ・研修内容のブラッシュアップや外部講師による研修を企画・実施し、研修を充実させることで職員のスキルアップを図る。 ○各部署・委員会における計画的な活動 ・各部署の目標管理、各委員会の活動計画を立て、PDCAサイクルを実践する。また、専門性の理解・連携の向上を目指す。 ○加算取得を目指した取り組み ・各種加算取得に必要な条件を満たすよう、加算の理解・体制の整備を行う。 ○BCP（事業継続計画）の再構築、地域住民との連携・訓練実施。 <p>②生活の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○より良い支援が出来る環境の見直し ・事故やヒヤリハットの分析力を高め、日常生活におけるリスクマネジメントに対する意識・対策の強化を図る。 ・健康な体を作る食提供（食事内容や自助具の選定）。 ・ボランティアや介護相談員の受け入れ再開することにより、利用者の新たな人との繋がりを増やす。 ○楽しみの充実 ・感染症対策に取り組みながら外出行事の企画・実施を行う。 ・行事、レクリエーションやクラブ活動を再開する。 ・販売会等を企画実施し、施設利用者と地域住民が共に参加できる機会を作る事によって社会参加意識を高める。

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和5年度事業計画																																				
利用定員	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293 日 ・1ヶ月あたりの利用者数 480人 ・登録者数 60人 	<p>●実績人員 (2月末日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293 日 ・1ヶ月あたりの平均利用者数 358人 ・予算比達成率 75% <p>月別利用人数</p> <table border="1" data-bbox="991 533 1982 705"> <tr> <td>月 (営業日数)</td> <td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>月末登録者 (名)</td> <td>37</td><td>37</td><td>38</td><td>36</td><td>34</td><td>35</td><td>36</td><td>38</td><td>39</td><td>42</td><td>46</td> </tr> <tr> <td>月利用者数 (名)</td> <td>380</td><td>339</td><td>389</td><td>369</td><td>324</td><td>339</td><td>331</td><td>354</td><td>379</td><td>365</td><td>372</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 新規契約者 20名 解約者 12名 	月 (営業日数)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	月末登録者 (名)	37	37	38	36	34	35	36	38	39	42	46	月利用者数 (名)	380	339	389	369	324	339	331	354	379	365	372	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293日 ・登録者数 60人 ・利用定員 30名 ・1日の目標利用者数 22名 ・目標稼働率 75%
月 (営業日数)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																												
月末登録者 (名)	37	37	38	36	34	35	36	38	39	42	46																												
月利用者数 (名)	380	339	389	369	324	339	331	354	379	365	372																												
職員配置	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2名 (1名介護職兼務) 看護職 (非常勤) 1名 介護職 5名 (常勤換算 4.5) <p style="text-align: right;">合計 9名</p>	<p>●実績人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2名 (1名介護職兼務) 非常勤看護職 1名 介護職 5名 (常勤換算 4.5名) <p style="text-align: right;">合計 9名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <ul style="list-style-type: none"> 入職 1名 (非常勤介護職員 1名 12月採用) 退職 1名 (機能訓練指導員 1月末退職) 	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2名 (1名介護職兼務) 非常勤看護職 1名 介護職 6名 (常勤換算 5.4名) <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤介護職員 1名、児童部門より異動 <p style="text-align: right;">合計 10名</p>																																				
処遇の特例事項		<p>●感染症の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者 <ul style="list-style-type: none"> 7月8月 利用者1名 職員3名 9月 利用者1名 職員1名 <p>●事故・怪我発生件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診を要する怪我 0件 <p>●苦情解決・・苦情解決委員が召集される苦情はない</p>	<p>●感染症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じると共に、季節性の感染症の予防対策や感染拡大防止策を徹底して行う。 <p>●事故防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルに基づいて対策を行う。 																																				

	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
重点項目	<p>1、運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業所の売りを作り付加価値をつける。 ●利用者が高いモチベーションの上で自己選択、自己決定をして「やっていること」と「やれること」との落差の解消を目指しさらに「やりたいこと」へ取り組むことが出来るような支援を行う。 <p>●ICTの利活用でサービスの質と業務の効率化を同時に高める</p> <p>2、職員の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者処遇、接遇に対する教育体制の強化 ・内部研修、外部のオンライン研修を活用する。 ●介護サービスの生産性を向上させる。 <p>①職場環境整備</p> <p>②業務の明確化と役割分担</p> <p>③記録・報告様式の工夫</p> <p>④理念・行動指針の徹底</p> <p>3、地域との連携強化</p> <p>○地域において社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点になるデイサービスづくり ・地域住民との交流を図る場を設ける。 	<p>1、運営の安定を図る</p> <p>①手段的日常生活の動作を日々のプログラムに取り込み「やりたいを叶える力」を事業所の売りにしていく為、「やりたいこと」に主体的に取り組む満足度を高める活動プログラムに提供をおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理レクリエーション（昼食時の味噌汁づくり・おやつ作り） ・選択制のレクリエーションの実施 ・社会参加活動として、にじいろマルシェの出品や装飾品をハンドメイド倶楽部で制作した。 ・脳トレに特化したプログラム提供の実施 <p>②居宅事業所へ、活動の様子などを発信し事業所で実施している活動への興味を持っていただき新規利用者の紹介増を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどを利用した広報活動の充実を図った。 <p>③IT機器を利用しリハビリ体操を実施することで、コロナウイルス感染症予防対策に繋がり、安全に機能訓練に取り組む事が出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IP電話を日々の業務で連絡ツールとして使用することで、業務連絡がスムーズに行うことが出来た。 ・連絡帳に活動写真などを添付し利用時の様子を家族と共有した。 ・記録・報告様式の工夫について利用者情報は介護ソフトを活用し情報の共有を図った。 <p>2、職員の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部研修を定期的実施し利用者処遇、接遇に対する知識を深めた。 ・高齢者虐待、ハラスメント対策等の勉強会を定期的実施した。 ・認知症事例検討会を都度実施した。 ・サービスの生産性を向上させるため、業務の洗い出しを行い、役割を明確にした。 <p>ICTを活用することで、業務の効率化・スムーズな情報共有・連携を図ることが出来た。</p> <p>3、地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の社会資源の活用として、毎月第4土曜日に、にじいろマルシェを開催し場所の提供を行った。また、マルシェ開催を通じて地域住民との交流や情報交換を行うことが出来た。 <p>多くの地域住民の方にも来場していただき施設を知っていただく機会になった。</p>	<p>1、運営の安定を図る。</p> <p>①登録者数増、稼働率向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振替利用のシステムの構築。 ・ケアマネージャーへのプロモーション活動 <p>モニタリング報告書を営業ツールとして活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどの活用により事業所の活動を発信することで、利用者様の家族への安心感の醸成にもつながる。 ・地域への働きかけとしてにじいろマルシェの継続 ・地域との防災についての仕組みを考える。 ・潜在顧客を獲得するため、「介護予防・日常生活支援総合事業、一般介護予防」の実施 <p>地域住民の交流の場としてサロン開設やサークル活動、体操教室の実施</p> <p>②利用者の満足度向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が興味をもち参加出来る活動プログラムの提供 ・利用者の「やりたい・やってみたい」が実現できる事業所を目指し付加価値をつける。 <p>2、職員の育成強化</p> <p>①継続的にサービスを洗練化しマニュアルを整えてサービスを一定にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の利用者に対応する職員教育体制の整備をする。 ・職員の主体性を育み、介護・処遇の質の向上を目指す。 <p>②リスクマネジメントの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全を守り事業所の信用を高める。 ・職員の危機管理能力を高め、安全で質の高いサービスの提供を目指す。 ・感染症、災害BCP（事業継続計画）の構築。
その他			

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和5年度 事業計画
利用定員	<p>●計画人員（ケアプラン作成利用者数） 延べ 1,104 件/年 92 件/月</p>	<p>●実績 ケアプラン作成利用者数 （令和5年2月末日現在） 介護ケアプラン作成 1040 件 1ヶ月平均 94.5 件 ●その他 予防ケアプラン受託作成数 延べ件数 145 件 認定調査受託件数 186 件</p>	<p>●計画人員（ケアプラン作成利用者数） 延べ 1,104 件/年 平均 92 件/月 ※事業所上限契約数をもとに、給付実績が90%以上となるように目標を設定した。 ●認定調査受託件数 区内、他区・他県からの認定調査受託件数 延べ 120 件/年 10 件/月</p>
職員配置	<p>●配置計画 管理者（兼務） 1 名 介護支援専門員 常勤 1 名・非常勤 2 名</p>	<p>●配置計画 管理者（兼務） 1 名 介護支援専門員 常勤 2 名 非常勤 1 名</p>	<p>●配置計画 管理者（兼務） 1 名 介護支援専門員 常勤 2 名（1 名兼務） 非常勤 1 名 計 3 名</p>
処遇の特例事項		<p>●居宅のサービスにおける苦情・事故はなかった</p>	
重点項目	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>2、業務の効率化を図る</p> <p>3、人材育成、サービスの資質向上に努める</p>	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>① 医療機関や介護老人保健施設、介護保険サービス事業者等の担当者との連携を図ると共に、地域包括支援センターとの連絡を密にし、事業所契約数維持増加につなげた。</p> <p>② 地域包括ケアシステムを意識した継続性のある介護サービスを提供した。また、居宅が窓口となり当法人の他事業所サービスにつながるよう各担当者と連携・協議を行った。</p> <p>2、業務の効率化を図る</p> <p>① 居宅介護支援ソフト導入にあたり、記録の運用と活用を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的な運用を行い、使用状況の確認、操作方法の理解を深め、業務の効率化を図った。 ・定期的に運用状況の確認を行い、支障箇所の改善を図った。 <p>3、人材育成、サービスの資質向上に努める</p> <p>① 公的研修への参加、事業所内での勉強会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員 専門課程Ⅱ、主任介護支援専門員更新要件研修、スキルアップ研修、オンライン研修へ参加し、事業所内で勉強会を実施、自己研鑽を図った。 <p>② 日常生活困難事例や突発的な事案への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待予防・権利擁護の推進を図るべく、事業所内研修会の開催や事案報告を行った。 ・事例シートを使用し、事業所内で相談・対処方法の検討を行い、情報共有を行った。 ・状況により地域包括支援センター、葛飾区高齢支援課への相談及び協力を仰ぎ、適宜指示、助言を受けた。 <p>③ 認知症ケアに対する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で認知症についての研修を定期的実施した。 	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>① 地域包括ケアシステムの一端を担っていることを認識し、利用者に関わる医療機関・医療サービス事業所、介護サービス事業所と情報共有を図り、在宅生活が維持できるようにサービスの調整を図り、居宅サービス計画書に反映させる。</p> <p>2、サービスの資質向上に努める</p> <p>①高齢者権利擁護、虐待防止の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活困難事例の研修への参加 ・事業所内での研修の実施 ・高齢者虐待防止マニュアルの整備 <p>② BCP（事業継続計画）の取り組みを見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を考慮した災害時事業継続計画の見直しを行う。事業所全体で取り組み、課題抽出や課題改善に向けた取り組みを行う。 ・感染症 BCP マニュアルの見直し。 <p>3、医療との連携を強化</p> <p>①かかりつけ医や入院先医療機関、医療サービス事業所と連携を図り、在宅生活を安心して送れる環境作りの提案を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関で開催する退院前カンファレンスへの参加 ・在宅生活に向けた家屋評価に積極的に参加 ・通院同行や訪問診療の診察に立ち合い、医師の意見を盛り込んだ居宅サービス計画書の作成を行い、疾患に対して本人・家族が不安なく在宅生活を送れるように支援していく。